器具器械９　汎用Ｘ線診断装置用電動式患者台(40655000)
一般医療機器（特定保守管理医療機器・設置管理医療機器）

昇降式平面撮影台　ＳＡ－Ａ３

取　扱　説　明　書

医療機器製造販売業許可番号２７Ｂ３Ｘ00069

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読み下さい。
お読みになった後は、装置の近くの見やすい所に、
大切に保管して下さい。

三共医療機株式会社

１．はじめに

このたびは三共昇降式撮影台（ＳＡ－Ａ３）をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。本装置を正しくご使用していただくために、この取扱説明書をよくお読みの上、大切に保管してください。

１．１　適用範囲

このマニュアルは、昇降式撮影台（ＳＡ－Ａ３）に適用する。

１．２　概　　説

本撮影台は、X線発生装置と組合せて使用する臥位専用撮影台であります。

撮影台の天板部は、油圧駆動で天板上面が床上490mm～990mmの範囲で昇降し、撮影台への乗り降りが大変楽に行えます。
また、省スペースにも設置できるよう天板巾690mm、長さ1808mmとコンパクトに設計いたしました。天井の低い撮影室でも撮影距離が確保できます。

さらに、受像部が天板長手方向に移動できるので、位置決めが容易に行えます。

２．構　　成

標準構成

２．１　天板部	１式
２．２　天板昇降部	１式
２．３　受像部（ブッキー又は固定グリッド枠）	１式
２．４　操作用フットスイッチ（2連式）	１式
２．５　電源コード（アース付３Ｐ　１０ｍ）	１式
２．６　ブッキーコード（１０ｍ）	１式

＊ ブッキーコードはブッキータイプのみ附属となります。

３．　性能（仕様）

３．１　外径寸法（付図）

①天板部外形寸法	巾1808×奥行690×厚み40（mm）
②ＭＤＦ又はアクリル天板寸法	巾1800×奥行570×厚み9（mm） アクリル：厚み８mm
③天板上面の高さ	床上490～990（mm）油圧電動式
３．２　受像部の移動範囲 （手動、任意の位置で固定）	長手側移動1050mm （固定グリッドタイプ） 長手側移動1000mm （ブッキータイプ）

３．３グリッドの種類

（ブッキータイプ）	8：1　34本/ｃｍ　120ｃｍ　AL
（固定グリッドタイプ）	8：1　40本/ｃｍ　120ｃｍ　AL
	8：1　60本/ｃｍ　120ｃｍ　AL
３．４　カセッテサイズ	半切タテヨコ～六ツ切タテヨコ
３．５　カセッテ固定方法	バネ式センタリング方式

３．６　操作用フットスイッチ　　２連式　（UP　DOWN）
３．７　アジャスター　　固定及びレベル調整用　（４ヶ所）
３．８　電　　源　　AC100V　５０/６０Hz　４.５A
３．９　質　　量　　１２０kg

４．　各部の名称及び機能

４．１天板部

受像部のスライド機構と一体構造になったアルミフレームは、頑丈で安全性に優れ被験者の方を安全に保持することができます。

天板表面はフラット構造になっていますので天板面でのカセッテ撮影が容易に行えます。

４．２天板昇降部

駆動部は油圧電動式の採用により上下動時の静粛性、振動が少なく被検者の方に不安感を与えないよう配慮された構造になっております。

４．３　受像部

(固定グリッドタイプ)

ブッキー同様新方式のケース構造でホトタイマー受光部を取り付けても、天板フィルム間距離は４５mmを確保することができます。受像部はテーブル長手側に 1050mm移動できるので広範囲に位置決めが易に行えます。

(ブッキータイプ)

グリッド吸引時の音、振動を最小限に抑え、被検者の方に不安感を与ません。新方式の板バネ機構の採用で天板、フィルム間距離が４５mmと短く、ホトタイマー受光部を取り付けても距離が４５mmで鮮明な画像が得られます。

受像部はテーブル長手側に９９０mm移動できるので広範囲に位置決めが容易に行えます。

４．４　カセッテトレイ

トレイはステンレス製ですので耐久性に優れています。又、カセッテの固定方法はバネ式センタリング方式を採用していますのでワンタッチ操作でカセッテをセットすることができます。

４．５　フットスイッチ

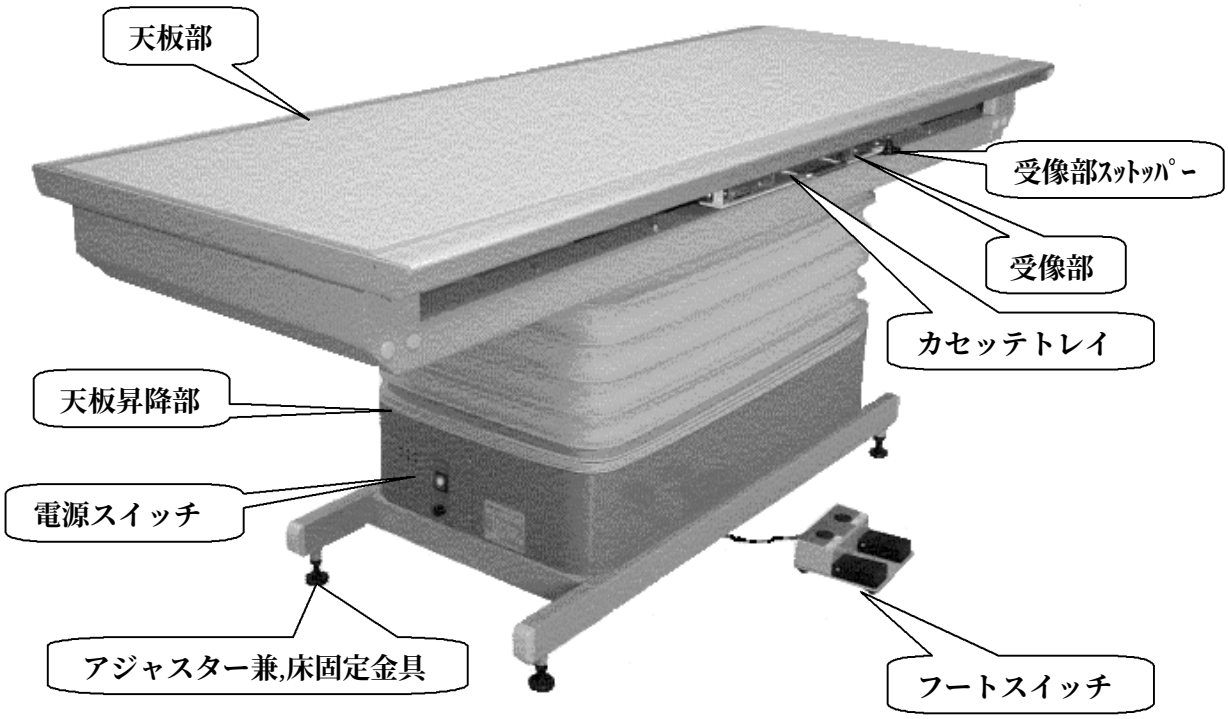
２連式の操作性のよい薄型設計です。

４．６　アジャスター兼、床固定金具

床固定とレベル調整が簡単に行えます。

４．７　各部の名称

各部の名称



５．　撮影台の使用方法

５．１　天板の昇降

天板の高さを必要に応じて昇降させたい時は、フットスイッチのペダルを必要な高さになるまで踏み続けてください。
（ＵＰ）のペダルを踏み込んでいると天板が上昇し（ＤＯＷＮ）のペダルを踏み込んでいると天板が下降します。
ペダルを踏み込んでいる間作動しますので任意の位置にくるとペダルから外せば停止します。
天板の上限、下限の位置ではペダルを踏み込んだままでも停止します。

ご注意

（１）天板を上下動させる時は、付近に干渉物等がないことを確認の上行ってください。撮影台等の損傷と被検者の方に衝撃を与える恐れがあります。
（２）フットスイッチ（ＵＰ）（ＤＯＷＮ）のペダルを同時に踏み込まないでください。

５．２　受像部のスライド

受像部をテーブルの長手方向へ移動させることができます。撮影部位に合せて移動させ位置決めを行ってください。移動は固定ストッパを緩めてスライドさせ任意の位置で固定することができます。

ご注意

（１）受動部をスライドさせ位置決めを行った後は、必ず固定ストッパで確実に固定されていること確認してください。固定されないまま使用するとフィルムの中心がずれて、再撮影の原因になる恐れがあります。

（２）受像部をスライドさせる時は、天板フレームとのスキマ等に注意してください。トレイの取っ手以外持ち移動させると手等を挟む恐れがあります。

（３）受像部をスライドさせる時は両端で急激な衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

５．２カセッテトレイの使用

カセッテをトレイに装填する時はトレイを引き出し、カセッテ固定具の間にカセッテをセットします。その際、カセッテ左右中心の印とカセッテ固定具中心の印を合せてください。前後の中心はバネの力で自動的に行えます。カセッテがセットできればトレイが止まるところまで確実に押し込みます。これでカセッテは中心位置にセットできます。

ご注意

（１）カセッテトレイの操作時は、必ず取っ手を持ちスキマに注意して操作を行ってください。手や指を挟む恐れがあります。

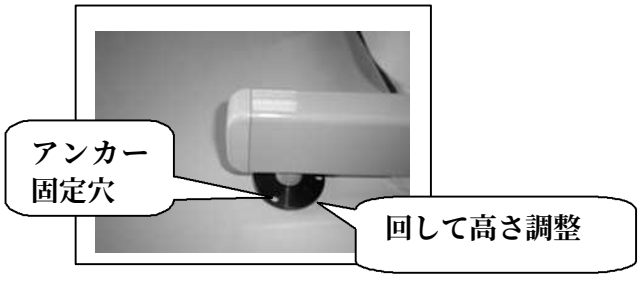
（２）カセッテをセットする時は、必ず両手でカセッテを持ちトレイの上に置いてください。カセッテを落下させる恐れがあります。

（３）カセッテトレイのスライド操作は丁寧に行ってください。トレイの破損やトレイが外れ落下する恐れがあります。

（４）カセッテトレイに無理な負荷をかけないでください。トレイが変形します。

５．４アジャスター

本体と床のレベル調整に使用してください。



５．５　テーブル本体への乗り降り

テーブル本体への乗り降りは、フットスイッチ操作でテーブルの高さを乗り降りしやすい位置へ調整し、被検者の方はテーブル中心部よりゆっくりと乗り降りしてください。

ご注意

（１）テーブル本体は臥位専用ですのでテーブルの上に立ったりしないでください。天板の破損や転倒する恐れがあります。
（２）天板には急激な荷重をかけないでください。亀裂や破損の原因になります。
（３）天板表面はキズがつきやすいので硬いものの接触には十分注意して取り扱ってください。
（４）天板に亀裂が生じた場合は使用しないでください。亀裂の状況によっては破損につながりますのでご相談ください。
（５）テーブルの故障等で高い位置での乗り降りは、踏み台を使用するか介助者の補助で乗り降りを行ってください。

５．７　フットスイッチの操作

ＵＰのペダルを踏み込むと上昇しＤＯＷＮのペダルを踏み込むと下降します。上限と下限では踏み込んだままでも停止します。

SA-A3　　点検日付　／　／　　担当者

日常点検項目

	点検項目	方法	詳細	確認
1	異音、異臭の有無	目視	電源投入後に異音、異臭の確認	
2	外観（キズ、破損）	目視	傷が無い事 •塗装のはがれ等確認	
3	各部のネジの緩みが無い事	目視	装置固定部等のネジを確認	
4	天板昇降動作確認	動作確認	上下定位置での停止、異音、オイル漏れの確認	
5	受像部移動動作確認	動作確認	受像部の走行がスムースに動くこと	
6	受像部移動固定確認	動作確認	受像部の固定が確実なこと	
7	コード類の損傷確認	目視	擦り傷やケーブルの芯線が見えないこと	
8	ｶｾｯﾃ固定金具の動作確認	動作確認	カセッテの固定が確実に保持しているか	
9	トレイ引き出しの動作確認	動作確認	トレイ引き出し固定及び移動動作がスムースに動くこと	
10	付属品の装着、固定確認	動作確認	安全グリップ等部品が確実に固定されるか	
11	アクリル天板の傷、汚れ	目視	特に天板のヒビを確認、深さ1mm以上の傷が無い事	
12	ブッキーの動作確認	動作確認	X線装置と連動して5秒以上振動するのを確認	

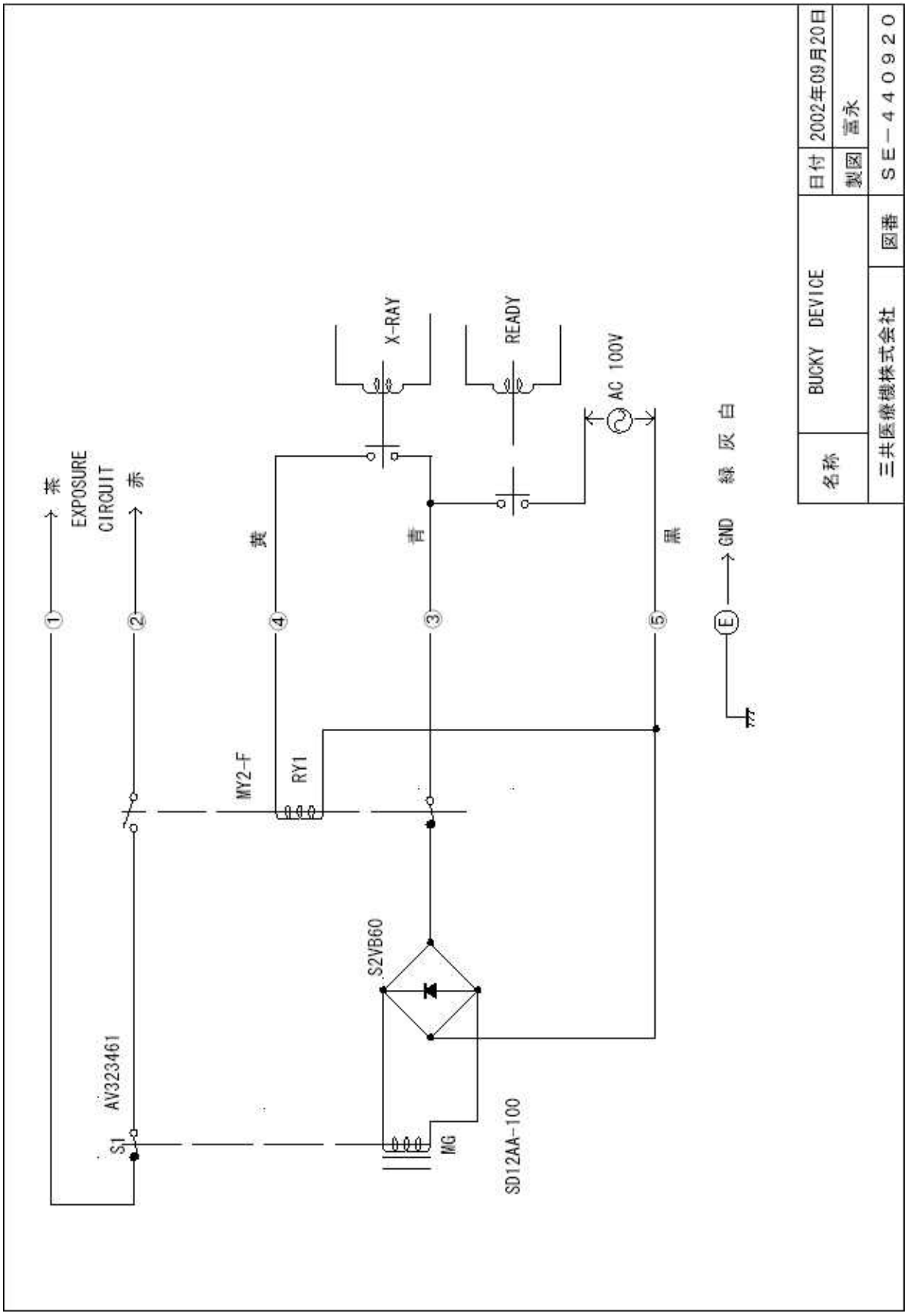
定期点検項目

日常点検に付加して行う

	点検項目	周期	詳細	確認
1	テーブル本体レベル調整	1年	水準器にて1／１００以下（前後、左右）アジャスターで調整	
2	X線管保持装置との平行度	1年	X線管を移動して受像部中心と照射野中心が5mm以内	
3	装置の各固定ネジの確認	1年	増し締め	
4	ヒューズの交換	1年	定格のヒューズを交換	
5	受像部グリッド面の清掃	1年	アクリル天板を外して内部の清掃	
6	表示シールの確認	1年	PLシール等の剥れや内容が確実に見える事	
7	油圧シリンダの安全確認	1年	蛇腹を外し異常音、オイル漏れがないか確認	
8	モータポンプの安全確認	1年	蛇腹を外し異常音、オイル漏れがないか確認	
9	オイルチューブの安全確認	1年	蛇腹を外しオイル漏れがないか確認	
10	内部電気配線の安全確認	1年	蛇腹を外しコネクタの緩み、被覆の剥がれの確認	
11	蛇腹内部の清掃	1年	蛇腹内部のゴミやホコリの除去	
12	カセッテトレイ固定金具交換	3年	ストッパ金具交換	
13	上下動リレーの交換	5年	上下動駆動ユニットのリレー交換	

日常点検表　（SA－A3）

		点検項目	方法	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
日常点検	1	異音、異臭の有無	確認																															
	2	外観（キズ、破損）	目視																															
	3	各部ネジの緩みが無い事	目視																															
	4	天板昇降動作確認	動作確認																															
	5	受像部移動動作確認	動作確認																															
	6	受像部移動固定確認	動作確認																															
	7	コード類の損傷確認	目視																															
	8	ｶｾｯﾃ固定金具の動作確認	動作確認																															
	9	トレイ引き出しの動作確認	動作確認																															
	10	付属品の装着、固定確認	動作確認																															
	11	アクリル天板の傷、汚れ	目視																															
	12	ブッキーの動作確認	動作確認																															
	13																																	
	14																																	
	15																																	
	16																																	
終業点検	1	撮影室、操作室の整理整頓	確認																															
	2	撮影台の清掃	確認																															
	3	翌日の準備	確認																															
	4	補助具・備品のチェック	確認																															
備考		特に気が付いた点を記入（点検者名）																																


茶
EXPOSURE
CIRCUIT
赤
①
②
AV323461
S1
MY2-F
RY1
④
黄
③
青
⑤
黒
X-RAY
READY
AC 100V
E
GND
緑
灰
白
S2VB60
MG
SD12AA-100
名称
BUCKY DEVICE
日付
2002年09月20日
製図
富永
三共医療機株式会社
図番
SE-440920

ＳＡ－Ａ３据付品質チェックシート

設置先名		据付年月日	２０　／　／
設置先住所		設置担当者	

	製品名	製造NO
X線装置		
撮影台	ＳＡ－Ａ３	
X線管		
多重絞り		

	内容	据付者の確認
1	撮影台のアンカー止め	
2	撮影台の水平度　１／１００以下	
3	X線管保持装置と撮影台の平行度	
4	受像部にカセッテの装着	
5	付属品の装着	

お客様確認欄

	取扱い説明書の確認	ページ
1	取扱い説明書　安全の項目	
2	取扱い説明書　保守点検項目	

説明を受けた年月日	説明を受けられた方の所属	お名前（署名）
２０　／　／		
２０　／　／		
２０　／　／		